

区	分	項	目	大阪北摂霊園 4・5号橋梁補修及び耐震補強工事 特記仕様書													
総	則	摘	要	<p>(適用)</p> <p>本工事の施工にあたっては、本特記仕様書によるほか、大阪府都市整備部の「土木請負工事必携」(「土木工事共通仕様書」、「土木工事共通仕様書附則」、「土木工事施工管理基準」及び提出書類様式、各種基準・要綱等をいう。)によるものとし、原則として契約前に入札公告(随意契約による場合は見積り依頼)時における本特記仕様書交付開始日での最新版を適用するものとする。ただし、それ以降に改正等があった場合は、契約期間中に受発注者間で協議の上、必要に応じて最新版の適用に代えるものとする。</p> <p>なお、土木請負工事必携は以下のホームページに掲載している。</p> <p>(<a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/o130030/jigyokanri/giken/index.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/o130030/jigyokanri/giken/index.html</a>)</p> <p>(優先順位)</p> <p>建設工事請負契約書第1条に定める設計図書の優先順位は、①質問回答書(連絡事項登録を含む。)、②特記仕様書、③図面(数量総括表を含む。)、④土木工事共通仕様書附則、⑤土木請負工事必携(④を除く。)とする。</p> <p>(見積参考資料)</p> <p>設計図書のほかに提示する見積参考資料は、あくまでも見積の参考資料であり、入札参加者の適正・迅速な見積に供するため参考に示した一資料に過ぎず、契約上の拘束力を何ら生じるものではない。このため、施工方法等工事目的物を完成させるために必要な一切の手段については、受注者がその責任において定めること。工事の実施に当たっては、この趣旨を十分に理解し、事故発生等を招かないよう、その防止措置に留意すること。</p>													
	工	期		<p>(工期日数)</p> <p>工期には、施工に必要な実日数(実働日数)以外に以下の事項を見込んでいる。</p> <table><tr><td>①準備期間</td><td>60日間</td></tr><tr><td>②後片付け期間</td><td>30日間</td></tr><tr><td>③雨休率</td><td>0.7</td></tr><tr><td>④お盆・お彼岸等による工事不可期間</td><td>令和8年8月9日から令和8年8月16日 令和8年9月19日から令和8年9月23日 令和9年3月20日から令和9年3月22日 (土日・祝日等を除く)</td><td>4日間(土日・祝日等を除く)</td></tr><tr><td>⑤年末・年始抑制期間</td><td>令和8年12月29日から令和9年1月3日(土日・祝日等を除く)</td><td>4日間(土日・祝日等を除く)</td></tr></table> <p>ただし、工事発注後に抑制期間に変更が生じた場合は監督職員より指示するものとする。</p>		①準備期間	60日間	②後片付け期間	30日間	③雨休率	0.7	④お盆・お彼岸等による工事不可期間	令和8年8月9日から令和8年8月16日 令和8年9月19日から令和8年9月23日 令和9年3月20日から令和9年3月22日 (土日・祝日等を除く)	4日間(土日・祝日等を除く)	⑤年末・年始抑制期間	令和8年12月29日から令和9年1月3日(土日・祝日等を除く)	4日間(土日・祝日等を除く)
①準備期間	60日間																
②後片付け期間	30日間																
③雨休率	0.7																
④お盆・お彼岸等による工事不可期間	令和8年8月9日から令和8年8月16日 令和8年9月19日から令和8年9月23日 令和9年3月20日から令和9年3月22日 (土日・祝日等を除く)	4日間(土日・祝日等を除く)															
⑤年末・年始抑制期間	令和8年12月29日から令和9年1月3日(土日・祝日等を除く)	4日間(土日・祝日等を除く)															
	週休2日の取組み			<p>【発注者指定型】</p> <p>受注者は、本工事の実施にあたり、受発注者双方が綿密な工程調整を行うことにより、週休2日(原則、毎週土曜日・日曜日の休暇)を確実に取得できるような施工計画を作成した上で工事に着手しなければならない。</p> <p>なお、地域住民対応や悪天候等で土曜日・日曜日の施工が必要となった場合は、事前に休日(夜間)作業承諾書を提出し、監督職員の承諾を得ること。</p> <p>&lt;(共通)週休2日の取得に要する費用の計上&gt;</p> <p>本工事は週休2日の取得に要する費用を計上しているが、現場閉所率の達成状況に応じて契約変更を行う。</p>													
	建設副産物			<p>(発生土)</p> <p>(現場内で建設発生土を流用する場合)</p> <p>本工事により発生する建設発生土については、現場内にて流用を行うこと。</p>													

区	分	項	目	大阪北摂霊園 4・5号橋梁補修及び耐震補強工事 特記仕様書																																			
				<p>(特定建設資材の分別解体等・再資源化等への適切な措置)</p> <p>本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書の「解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。</p> <p>① 分別解体等の方法 (建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)の場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程ごとの作業内容及び解体方法</th> <th>工 程</th> <th>作 業 内 容</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6"></td> <td>①仮設</td> <td>仮設工事 ■有 □無</td> <td>□手作業 ■手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>②土工</td> <td>土工事 ■有 □無</td> <td>□手作業 ■手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>③基礎</td> <td>基礎工事 □有 ■無</td> <td>□手作業 □手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>④本体構造</td> <td>本体構造の工事 ■有 □無</td> <td>□手作業 ■手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>⑤本体付属品</td> <td>本体付属品の工事 ■有 □無</td> <td>□手作業 ■手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>⑥その他 ( )</td> <td>その他の工事 □有 ■無</td> <td>□手作業 □手作業・機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない</p> <p>② 再資源化等をする施設の積算上の所在地</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特定建設資材 廃棄物の種類</th> <th>所在地</th> <th>受入条件</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルト・コンクリート塊</td> <td>茨木市大字泉原650番地1</td> <td>08時00分 ～17時00分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート塊(無筋)</td> <td>茨木市大字泉原650番地1</td> <td>08時00分 ～17時00分</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記②については積算上の条件明示であり、再資源化施設を指定するものではない。 なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。</p>	工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法		①仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用	②土工	土工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用	③基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用	④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用	⑥その他 ( )	その他の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用	特定建設資材 廃棄物の種類	所在地	受入条件	摘要	アスファルト・コンクリート塊	茨木市大字泉原650番地1	08時00分 ～17時00分		コンクリート塊(無筋)	茨木市大字泉原650番地1	08時00分 ～17時00分	
工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法																																				
	①仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用																																				
	②土工	土工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用																																				
	③基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用																																				
	④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用																																				
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用																																				
	⑥その他 ( )	その他の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用																																				
特定建設資材 廃棄物の種類	所在地	受入条件	摘要																																				
アスファルト・コンクリート塊	茨木市大字泉原650番地1	08時00分 ～17時00分																																					
コンクリート塊(無筋)	茨木市大字泉原650番地1	08時00分 ～17時00分																																					
		施 工 管 理		<p>(試験・規格値)</p> <p>品質及び出来形の規格値は、土木工事施工管理基準及び規格値によるものとする。</p>																																			
		交 通 安 全 管 理		<p>(交通誘導警備員の配置について)</p> <p>交通誘導警備員の配置条件については、下表のとおりとし、<b>霊園管理事務所との打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は</b>、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>配置場所</th> <th>交通誘導警備員</th> <th>編 成</th> <th>交代要員</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁保全工事</td> <td>工事起終点</td> <td>3名/日</td> <td>交通誘導警備員B</td> <td>有り</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※「高速自動車国道」、「自動車専用道路」及び「都道府県公安委員会が道路における危険を防止するために必要と認めた認定道路」において、警備業者による交通誘導警備業務を行う場合、交通誘導警備業務検定1級又は2級の合格証明証の交付を受けた警備員の配置が必要となる。なお、交通誘導警備員A,Bの定義は以下のとおり。 ・交通誘導警備員A: 警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。)で交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員。 ・交通誘導警備員B: 警備業者の警備員で、交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するもの。</p> <p>(交通誘導警備員の配置にかかる再委託承諾書の提出) 交通誘導警備員の配置にかかる再委託承諾書については、提出を必要としない。</p>	工 種	配置場所	交通誘導警備員	編 成	交代要員	備 考	橋梁保全工事	工事起終点	3名/日	交通誘導警備員B	有り																								
工 種	配置場所	交通誘導警備員	編 成	交代要員	備 考																																		
橋梁保全工事	工事起終点	3名/日	交通誘導警備員B	有り																																			

区 分	項 目	大阪北摂霊園 4・5号橋梁補修及び耐震補強工事 特記仕様書																					
	官公庁への手続等	本工事区域内にて支障となる物件が判明した場合は、受注者は各企業と充分調整を行うこと。																					
	施 工 時 間 等	(施工時間) (作業時間)  施工時間は、霊園開園時間内の施工とし、17時には園外へ退出すること。また、休日(土・日・祝)及び監督職員が指定するお盆、彼岸の日は原則として施工を禁止すること。やむを得ず休日・夜間施工を行う場合は、交通処理図を作成したうえで事前に監督職員と協議し、承認を得ること。 工事期間中は、「週間予定表」を監督員及び霊園事務所へ提出すること。なお、霊園の管理運営の都合上、工事時間及び工程の調整を行うことがあるので、その場合は監督員の指示に従うこと。																					
材 料	工事材料の品質・ 検 査 ( 確 認 )	工事材料において必要な見本または資料、試験及び検査の方法、内容は次表によるものとする。なお、次表以外の材料については、施工計画書に材料名、品質、規格等を記載することとし、材料搬入時には試験成績表を提出すること。 <table><tr><th rowspan="2">材料名</th><th colspan="3">項 目</th><th rowspan="2">方法・内容</th></tr><tr><th>材質</th><th>形状寸法</th><th>数量</th></tr><tr><td>鉄筋</td><td>資料</td><td>検査</td><td>—</td><td>資料は製造会社成績表、検査は抜取</td></tr><tr><td>アンカー</td><td>”</td><td>”</td><td>”</td><td>資料は製造会社成績表、検査は抜取</td></tr></table>				材料名	項 目			方法・内容	材質	形状寸法	数量	鉄筋	資料	検査	—	資料は製造会社成績表、検査は抜取	アンカー	”	”	”	資料は製造会社成績表、検査は抜取
材料名	項 目			方法・内容																			
	材質	形状寸法	数量																				
鉄筋	資料	検査	—	資料は製造会社成績表、検査は抜取																			
アンカー	”	”	”	資料は製造会社成績表、検査は抜取																			
仮 設 工 ( 任 意 仮 設 )	仮 設 工	(仮設工) 本工事における仮設図面は参考図であり、契約上の拘束力を何ら生じるものではない。このため、工事目的物を完成させるために必要な仮設方法は受注者がその責任において定めることとし、設計変更の対象としない。ただし、当初と現場条件等が異なる場合、打合せ記録簿に変更となる理由を記載の上で監督員と協議すること。																					
そ の 他	施 工 計 画	(施工手順)  仮設計図面及び施工状況図を参考に施工計画書を作成するものとする。																					
	工 事 完 成 図 書	(橋梁台帳) 本工事では、完成に伴い橋梁台帳等の整備・作成を行うものとする。なお、作業内容・様式・提出部数等は別添の「橋梁台帳作成特記仕様書」に基づくものとし、監督職員の指示によるものとする。																					
	そ の 他	(その他) ・橋梁補修に関して、補修前に現地状況を確認し、監督職員と補修数量について協議してから施工を行うこと。 ・お盆、お彼岸の期間においては作業を禁止し、また、通行車両に一切の支障がない状態で開放すること。 ・霊園内には、路線バスが運行しているので、通行の妨げにならないよう注意すること。 ・工事内容等その他疑義が生じた場合、その都度監督員と協議するものとする。 ・当霊園で施工を行う日は、来園及び退園時に霊園管理事務所の受付に設置している「園内入園管理台帳」に記入を行うこと。退園時においては、16時45分までに記入を行うこと。																					